



全国大会・東北指導会出場隊

〔全国大会〕 ◇陸上の部

種 目 名	消防本部名	隊員 (チーム) 名
ロープブリッジ渡過	能代山本広城市町村圏組合消防本部	原 田 将 宏
はしご登はん	秋 田 市 消 防 本 部	沢 木 耀太郎
ほふく救出	にかほ市消 防 本 部	宮 崎 太 郎 チーム
ロープ応用登はん	能代山本広城市町村圏組合消防本部	清 水 裕 太 チーム

〔東北指導会〕 ◇陸上の部

種 目 名	消防本部名	チ ャ ム 名
引 揚 救 助	秋 田 市 消 防 本 部	相 場 蒼 太 朗 チーム
	大曲仙北広城市町村圏組合消防本部	高 橋 奎 人 チーム
	大曲仙北広城市町村圏組合消防本部	佐々木 貴 弘 チーム
ロープブリッジ救出	能代山本広城市町村圏組合消防本部	児 玉 龍 一 チーム
	鹿角広域行政組合消防本部	小 館 拓 チーム
	男 鹿 潟 上 消 防 本 部	渡 部 勇 貴 チーム
障 害 突 破	秋 田 市 消 防 本 部	茂 木 勇 介 チーム

◇水上の部

種 目 名	消防本部名	隊員 (チーム) 名
溺 者 搬 送	大曲仙北広城市町村圏組合消防本部	佐々木 厳 チーム
人 命 救 助	男 鹿 潟 上 消 防 本 部	田 中 謙 也 チーム
	にかほ市消 防 本 部	佐 藤 憂 弥 チーム
溺 者 救 助	大曲仙北広城市町村圏組合消防本部	澤 山 大 輝 チーム
水 中 結 索	能代山本広城市町村圏組合消防本部	伊 藤 雅 道 チーム
	大曲仙北広城市町村圏組合消防本部	佐々木 宏 伸 チーム
水中検索救助	秋 田 市 消 防 本 部	鎌 田 晃 遥 チーム

第54回消防救助技術秋田県大会
(秋田県消防長会主催) が開催され、
出場隊員は日頃鍛えた救助技術を競
いました。

第54回
消防救助技術秋田県大会
秋田県消防長会



題 字
初代会長 松 野 盛 吉
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋 田 県 消 防 協 会
会長 樋 渡 徹
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubairainsatsu.co.jp>

「水上の部」は、6月23日に秋田県立総合プール(秋田市新屋)で、「陸上の部」は、6月30日に秋田県消防学校(由利荘市岩城内道川)でそれぞれ開催されました。

「陸上の部」の開会式では、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部の佐々木 祐哉消防士長が、出場隊員を代表して宣誓を行いました。



競技の結果、全国大会への出場者並びに東北指導会への出場隊は、左表のとおり決定しました。

全国大会は、8月22日に新潟県で開催されます。



第80期
初任教実務研修を
終えて

秋田県消防学校

小松 飛翔
(秋田市消防本部)

今回の実務研修では、現場でしか学ぶことのできない多くの経験を積むことができました。

特に印象に残っているのは、初めて火災出動を経験したこと。実際の現場では緊張感が非常に高く、訓練とは違う空気を肌で感じました。消防隊員一人ひとりが冷静かつ迅速に行動している姿を見て、自分も早く現場で活躍できる隊員になりたいという気持ちが強くなりました。

一方で、自分の課題も多く見つかりました。例えば器具結索では、焦ってしまっているように結索することができず、基本技術の未熟さを痛感しました。現場では確実に素早い動作が求められるため、繰り返し練習を行い、確実に身に付けたいと思います。また、研修で炊事を経験しましたが、調理の知識や段取り、効率よく作業を進める技術が不足していることを実感しました。消防では、災害対応だけでなく、共同生活の中で協力しながら生活することも重要であるため、日頃から炊事に取り組む、知識や技術を身に付けていきたいです。

今回の実務研修では、自分の成長を感じるとともに、多くの課題を見つけることができました。この経験を今後の訓練や勤務に生かし、一日でも早く信頼される消防職員になれるように努力を続けていきます。

渡邊 佑真
(北秋田市消防本部)

7月2日から7月3日にかけて北秋田市消防本部での実務研修に参加させていただきました。消防学校で培った知識や技術、そして厳しい訓練を通して身に付けた技術を発揮することができたと思います。

午前の研修では、主に事務作業を経験させていただきました。パソコンを今までほとんど使用したことがなかったため、不慣れで大変でした。消防学校の初任教育修了後は予防係として実務を行うことになるので、自宅のパソコンなどで、操作の練習をしていきたいです。

午後の研修では、放水訓練を行いました。消火栓から水利を確保し、ポンプ車に繋げ、想定上の火点に放水しました。ホースは一本だけでなく、三本程繋げてとても重く操作が難しかったです。現場では、放水姿勢を維持したまま、火が消えるまで放水しなければならぬので、消防学校での残り二カ月間でさらに体力錬成で体を鍛え、いち早く現場で通用する消防士になれるように、これからも努力を重ねていきたいです。

夜の勤務時間は、署内で先輩の方々と体力錬成を行いました。先輩の方々が丁寧にご指導して下さい、とても温かな職場でした。

まだ消防士として未熟ですが、現場ではそんなことでは通用しないので、心身ともに鍛えていきたいです。

佐藤 杏奈
(横手市消防本部)

今回の実務研修では、これまで1年間現場で経験してきたことを踏まえながら、改めて消防業務について学ぶことができました。

私は現場経験を通して業務の流れについては一通り把握できていたが、今回の研修で基礎的な内容を再確認するとともに、より正確な知識と技術を身につけることができました。

特にホースカールの延長要領や収納方法については、安全かつ迅速に活動するための重要性を改めて理解しました。また、放水訓練では、ホース延長から筒先部署に至るまでの一連の動作を迅速かつ確実に行うことの難しさを実感しました。隊員同士で声を掛け合いながら連携を取ることや、安全確認を徹底することの大切さについても学ぶことができました。

さらに、119番通報に伴う無線の送り方については、必要な情報をメモし、それを簡潔にうまくまとめるのが難しいと感じた。一方、予防業務においては、立入検査や査察の要領を分かりやすくまとめて教えていただき、現場に生かせそうなことをたくさん聞くことができた。

今回の研修を通して、消防業務は一人で行うものではなく、隊員同士の連携や日頃の訓練の積み重ねが重要であることを改めて実感した。今後も向上心を持って知識と技術の習得に努め、住民から信頼される消防職員を目指していきたい。

原田 愛輝
(鹿角広域行政
組合消防本部)

7月2日から3日までの一当務の研修は、所属の雰囲気を感じ、実践的な訓練を行い有意義な研修にすることができた。

訓練は、ホース展張やホースカーで運搬してから放水までを通して行った。完全着装をして暑い中での訓練を終えると、達成感を得ると同時に、迅速に行動することの大変さを学んだ。

また、ガンタイプノズルでの補助の要領や、基本放水姿勢だけでなく、状況に応じた臨機応変な立った状態の放水など、実り多い指導をいただき、充実した訓練をすることができた。

通信訓練では、通報内容を聞き指令を出すまでの要領を学んだ。通報者から、指令を出すための情報を正確に聞き出すことが難しかった。所属に戻ると通信勤務につくこともあるので、冷静かつ確実に情報を伝えるために、マニュアルにある程度頭に入れて、鹿角消防の管轄地域の地理をしっかりと覚えていきたい。

今回の研修を終え、所属に戻った際に迅速確実に行動できるよう消防士としての心構えを学んだ。確かな技術を身に付けるために、これからの訓練でも常に向上心を持って取り組んでいきたい。



藤村 祥
(大曲仙北広域市町
村組合消防本部)

今回の実務研修では、朝の車両点検や無線の点検など、素早く行動している職員の方々を見て、次に何をやるかを全て把握して動いているのは毎日の積み重ねなのだろうと感じました。

また、防火衣や呼吸器の着装、島田折りホース作成などを正確かつ迅速に行動できていて、自分たちはまだまだだと改めて実感しました。

研修の説明中に出動指令が入った際も、すぐに切り替えて出動準備を始める姿を見て、現場で求められる判断力と行動力の高さを学びました。

消防予防業務では、火災を未然に防ぐために、法律の知識や継続した勉強が必要であり、大変な仕事である一方、人命や財産を守る大きなやりがいがあることを知りました。

救急では、要救助者への接遇や搬送手順について説明を受け、救急救命士を目指す自分にとって非常に勉強になる時間となりました。

一日を通して、消防学校では学べない現場の雰囲気や、先輩職員の経験談を聞くことができ、多くの刺激を受けました。実務研修で学んだことや感じたことを今後の訓練や座学で活かし、知識と技術を身に付けていきたいと思っています。また、角館消防署の職員の皆さんが互いに声を掛け合い、良いチームワークで活動している姿が印象的で、自分もそのような消防士を目指して努力していきたいと感じました。



柿崎 光哉
(湯沢雄勝広域市町
村組合消防本部)

二回目の実務研修は24時間勤務でした。最初に交代の引継をしたのですが、正直話している内容はまだまだ理解できませんでした。

その後の車両点検では、先輩から教わりながら呼吸器を点検すると、面体と呼吸器が繋がっている、学校とは違う資器材を触って感じる事ができました。

車両点検が終わる間、特別救助隊の方が点検をしている間、チェンソーや発電機などの点検をしました。ここでは消防学校で学んだことを発揮できてよかったと思いました。

午後からホースカーや折り島田ホースの作成、延長要領を行いました。ほとんどの車両が折り島田で収納していることが疑問でしたが、実際にホース搬送が楽にできることを体験して納得しました。

その後雨が降り放水訓練はできなかったのですが、V字延長や狭所巻き作成などのホーストレーニングを行いました。折り島田からいろいろな延長を素早くするため丁寧に速く行うのがとても難しかったです。

自分達が業務を終え自習をしている間も、先輩達はずっとデスクワークをしていて、大変そうだなと見ていて感じました。

夜間の通信勤務では救急の通報があり、その場の臨場感も伝わり一気に現場を実感しました。

24時間勤務を終え家に帰ると、とても疲れを感じました。3回目の実務研修では、今の自分よりさらに成長できているように、これからはがんばっていききたいと思っています。



令和 8 年度消防団員数の概要

令和 8 年 4 月 1 日現在の消防団員数(速報値)の概要は次のとおりです。(秋田県総合防災課消防保安室調査)

1. 消防団員数は 13,061 人

消防団因数は減少が続いており、前年度比475人減の13,061人となりました。

条例定数充足率は80.8%、被雇用者率(サラリーマン化率)は77.2%となっています。

(単位: 人、%)

	R 3. 4. 1	R 4. 4. 1	R 5. 4. 1	R 6. 4. 1	R 7. 4. 1	R 8. 4. 1
消防団員数	15,473	15,131	14,546	14,041	13,536	13,061
前年同期比	△ 421	△ 342	△ 585	△ 505	△ 505	△ 475
条例定数充足率	84.8	84.5	83.4	81.2	79.	80.8

2. 女性消防団員は21人増の478人

女性消防団員は年々増加していましたが、一昨年度、昨年度は減少となっていました。今年度は前年比21人増の478人となりました。

(単位: 人、団)

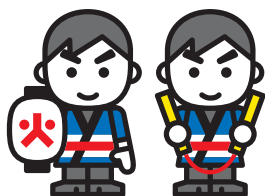
	R 3. 4. 1	R 4. 4. 1	R 5. 4. 1	R 6. 4. 1	R 7. 4. 1	R 8. 4. 1
女性消防団員数	429	467	468	459	455	478
前年同期比	14	38	1	△ 9	△ 4	23
女性団員採用消防団数	20	21	21	21	21	21

3. 機能別団員は 21消防団、1,515人

機能別団員制度が県内に導入された平成 1 9 年度以降、団員数は年々増加しており、前年比70人増の、1,515人となりました。

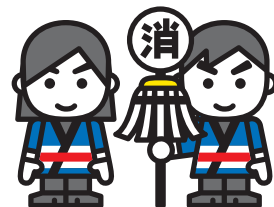
(単位: 人、団)

	R 3. 4. 1	R 4. 4. 1	R 5. 4. 1	R 6. 4. 1	R 7. 4. 1	R 8. 4. 1
機能別団員数	1,163	1,278	1,315	1,366	1,445	1,515
前年同期比	118	115	37	51	79	70
機能別団員制度導入消防団数	19	20	20	20	21	21



消防団員募集

地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。



消防団・消防団員とは

消防団は、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安全・安心を確保するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

多くの方の消防団入団をを期待

消防団は、地域防災の中核的な存在で、地域の安全・安心を確保するために大変重要な組織です。

一人でも多くの方に、消防団活動に参加いただけることを期待しています。

令和8年度消防団員数(令和8年4月1日現在)

(単位:人、%)

地域名	消防団名	条例 定数	団員数 合 計	団 員 充足率	左のうち		基 本 団員数	大規模 災 害 団員数	その他 機能別 団員数	前年比較	
					男 性 団員数	女 性 団員数				団員数	増減数
鹿 角	鹿角市	820	626	76.3%	597	29	565	0	61	669	△ 43
	小坂町	150	96	64.0%	91	5	96	0	0	96	0
	地域計	970	722	74.4%	688	34	661		61	765	△ 43
北秋田	大館市	800	747	93.4%	699	48	724	0	23	778	△ 31
	北秋田市	670	493	73.6%	474	19	460	9	24	519	△ 26
	上小阿仁村	100	65	65.0%	65	0	63	0	2	64	1
	地域計	1,570	1,305	83.1%	1,238	67	1,247	9	49	1,361	△ 56
山 本	能代市	745	566	76.0%	520	46	395	0	171	575	△ 9
	藤里町	125	111	88.8%	111	0	92	19	0	111	0
	三種町	430	381	88.6%	366	15	304	0	77	390	△ 9
	八峰町	330	219	66.4%	215	4	185	0	34	237	△ 18
	地域計	1,630	1,277	78.3%	1,212	65	976	19	282	1,313	△ 36
南秋田	男鹿市	820	670	81.7%	651	19	550	0	120	686	△ 16
	潟上市	473	396	83.7%	378	18	371	0	25	407	△ 11
	五城目町	205	130	63.4%	124	6	95	0	35	138	△ 8
	八郎潟町	75	49	65.3%	49	0	49	0	0	54	△ 5
	井川町	145	98	67.6%	92	6	90	0	8	101	△ 3
	大潟村	67	43	64.2%	43	0	32	0	11	44	△ 1
	地域計	1,785	1,386	77.6%	1,337	49	1,187	0	199	1,430	△ 44
秋 田	秋田市	1,700	1,462	86.0%	1,392	70	1,280	0	182	1,483	△ 21
由 利	由利本荘市	1,524	1,246	81.8%	1,222	24	1,066	0	180	1,320	△ 74
	にかほ市	460	421	91.5%	410	11	349	0	72	421	0
	地域計	1,984	1,667	84.0%	1,632	35	1,415	0	252	1,741	△ 74
仙 北	大仙市	1,375	960	69.8%	903	57	866	0	94	971	△ 11
	仙北市	630	384	61.0%	367	17	372	0	12	410	△ 26
	美郷町	360	270	75.0%	269	1	243	0	27	287	△ 17
	地域計	2,365	1,614	68.2%	1,539	75	1,481	0	133	1,668	△ 54
横 手	横手市	2,200	1,876	85.3%	1,846	30	1,640	236	0	1,942	△ 66
雄 勝	湯沢市	1,350	1,282	95.0%	1,248	34	1,189	93	0	1,332	△ 50
	羽後町	467	341	73.0%	332	9	341	0	0	351	△ 10
	東成瀬村	150	129	86.0%	119	10	129	0	0	150	△ 21
	地域計	1,967	1,752	89.1%	1,699	53	1,659	93	0	1,833	△ 81
県合計		16,171	13,061	80.8%	12,583	478	11,546	357	1,158	13,536	△ 475

支部情報アラカルト

能代市消防団

訓練礼式講習会を開催しました

6月14日(日)、能代消防署において訓練礼式講習会を開催しました。この講習会は、日々の消防活動はもちろんのこと、夏季に開催される市操法大会や郡市操法大会においても、厳正な規律の保持と、迅速的確で秩序ある行動ができるよう、毎年6月期に行っています。

当日は77名の団員が参加し、開会式では渡邊団長が「今日学ぶことを



各分団へと持ち帰り、各々が他の団員へ伝達すること、より有意義な講習会となる」と挨拶を述べました。

能代消防署員の指導のもと、小隊に分かれてお互いに向き合い、「基本の姿勢」や「まわれ右」といった各個訓練などの基本動作をはじめ、敬礼動作や辞令等の受領要領についての指導を受けました。参加者は皆、真剣な表情で号令に対して瞬時に反応し、基本の姿勢や敬礼を繰り返し行い、基本動作や部隊行動の習熟に努めました。

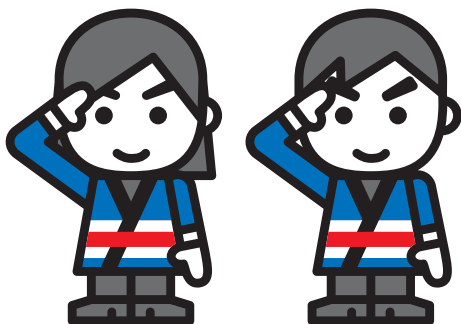
講習会の中では指導を受けるだけ



でなく、参加した団員同士で率先して細かい部分について指導し合う光景も見られ、消防人としての意識の高さを感じました。

本講習会への受講は、経験年数や階級などの制限は設けておらず、希望者は全員受講することができ、まだ経験の浅い団員から勤続30年を超える分団長までが一堂に会して、熱心で丁寧な指導を受けたことで、より一層団員同士の団結が強いものになったものと思われまます。

〔情報提供〓能代市山本郡支部〕



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和 8 年		令和 7 年			同期比較	
	7 月	累計	7 月	累計	年計	7 月	累計
建 物	8	89	6	105	186	2	- 16
林 野	0	19	1	5	7	- 1	14
車 輛	6	22	2	20	28	4	2
その他	6	66	15	36	54	- 9	30
合 計	20	196	24	166	275	- 4	30
死者数	3	13	0	11	16	3	2
負傷者数	1	20	1	36	51	0	- 16